

特定非営利活動法人 わっか
2019年度 月次報告書

2020年

2月

だれもがまるごと
受けとめられる
社会をつくる



NPO 法人 わっか

vision

だれもが、まるごと受けとめられる社会

わっかは、だれもが、まるごと受けとめられる社会を目指して活動を行う団体です。

子どもを取り巻く環境について

子どもたちは「思うがまま」に過ごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。いまの子どもたちは、自分では変えることができない社会環境や大人の意識の変化により「思うがまま」に過ごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。

大人の価値観による評価、他者との比較や数字で表せる結果で、子どもの存在を条件付きで認める場ばかりになり、さらには、地域社会においても、その子のまるごとを受けとめてくれる存在も少なくなっています。また、学校、学習塾、習い事、スポーツクラブで多忙な毎日を送り仲間も時間も空間もなくなりつつあります。私たちは、まるごと受けとめられる場づくりをしたいという思いで居場所づくり事業 や 出会いと学びを育む事業 などを行っています。

事業内容

1

居場所づくり事業

月ようわっか 日ようわっか Waccafe のっぱらわっか

2

出会いと学びを育む事業

寺子屋わっか、こどもの夢中全力サポート事業、講演会
若者の生活・就労支援

3

放課後児童クラブ事業

さかっこクラブ

月ようわっか
毎週月よう日
15:30~20:00

のべ人数

こども **53** 名 (**38** 名) 大人 **16** 名 (**8** 名)

※ () 内の人数はご飯を食べた方 (もち帰りも含む)

毎週月よう日の放課後に必ずひらかれる場です。参加費無料・申込不要。カリキュラムやプログラムは一切なしで「ルールがない」がルールです。子どものみちくさできる場所、子どものたまり場として場をひらいています。

3日 こども **9** 名 (**9** 名) 大人 **2** 名 (**3** 名)

メニュー：ごはん、えのきと白菜の味噌汁、ちくわの磯辺揚げ、ごぼうと切り干し大根のきんぴら

10日 こども **14** 名 (**9** 名) 大人 **4** 名 (**3** 名)

メニュー：ごはん、根菜の味噌汁、じゃがいものそぼろ煮、カブと小松菜の煮浸し

17日 こども **17** 名 (**12** 名) 大人 **2** 名 (**2** 名)

メニュー：ごはん、しめじと大根とネギの味噌汁、がんもと大根ととこんにゃくの煮物、菜の花のおひたし

24日 こども **13** 名 (**8** 名) 大人 **4** 名 (**0** 名)

メニュー：ごはん、菜の花の味噌汁、ブロッコリーと長芋のツナ和え、肉みそ炒め

▼番外編

月曜日の人数が多すぎて、ゆっくりできないという声に応じて、金曜日もひっそりと開けるようになりました (17:30 ~ 20:00)

7日 こども **7** 名 大人 **1** 名 14日 こども **9** 名 大人 **1** 名

21日 こども **7** 名 大人 **2** 名 28日 こども **7** 名 大人 **2** 名



nobi と asuka アメブロ「月ようわっか」

自分がわっかをするのは、なんでなんだろう。と時折考える。

今つながっている子が少し元気がない。ボクたちのことも、少し信頼できなくなっているようだ。すごく悲しいし、どうしていいかわからなくなる。でも、ボクたちは彼女のそばに居続ける努力をする。

どんな時でも、どんな状態でも、相手を見捨てない、軽蔑しない見守り続けること、それがボクらのポリシーだからだ。

なぜ、それにこだわるかって、それは、ボク自身がこれまで人生において見捨てられなかったからだ。

ボクは、本当にどうしようもない奴で、周りの人にひどいことをしてきた。恩を仇で返すことを平気でしてきた。自分で自分だが最低な奴だと思ってたし、なんで生きているんだろう、なんで生かされているのだろうと思った。

人から見捨てられ、惨めに人生が終わってもしょうがない奴だと思っていた。そのくせ、人に嫌われると悲しくなって、一丁前に凹んだり、落ち込んだ。そんな奴生きててもしょうがない。ただ、惨めに生き残っているだけ。

でも、未だ見放されてない。どうして？と思うこともあった。だけど、この世界はボクを見放さなかった。こんなどうしようもないボクでも生きていることを許してもらえたんだ。

だから、ボクは決めた。生かされている間、この命尽きるまでは精一杯生きよう。今できることをとことん妥協なく、逃げることなくやり切ろう。そう心に決めた。

だからこそ、ボクらはつながっている彼らがどうなろうと、どんなにこちらに対して不誠実であろうと、つながりと続けようと決めている。だって、一番苦しいのはその人自身だということを知っているから。苦しくて、もがいて、悩んで、落ち込んで、自分が情けなくなって、どうでもよくなって、、、

そんなときに見捨てられないこと、それがどれだけ気持ちが救われるか人は誰だって、人に見捨てられたくて生きているわけじゃない。どんなに自分を否定しても、心のどこかで"助けて"って叫んでるんだと思う。だから、ボクらから投げ出すことは絶対にしない。彼らの人生の最後まで付き合う覚悟がある。

日ようわっか
10:00~15:00

こども 23 名 大人 14 名

メニュー：ピザ

当日の動画→



2月11日 (日)

ピザを焼くためにピザ窯に火をつけていたら少年たちが「なにしてんの」「やらしてー」と言いながら近づいていき、「どうぞ」と言い、彼らの邪魔にならない場所に移る。



少年たちは、ここでの火おこしは初めてではないので、ピザ窯の周りに落ちている燃えやすそうな枝を拾ってきて、火の中に入れていく。



しばらくすると、カナヅチと釘を持った少年がきて、カンカン言わせながらあそびはじめる。それに気づいた少年たちも、自分でカナヅチと釘をとりについて、それに加わる。勝手に遊びが変わっていく。



自分の好きな具（チョコレートとバナナ）だけをのせただけ載せています。



のせたいものだけを載せたピザができました。自分で食べたいものだけをのせたピザ。子供たちはどんなふうに乗ってくれたのかなあ。また、こんな時間が過ごせることがありがたいです。

waccafe 10:00~14:00 金曜日

14、28日 のべ4名

珈琲の落ちる時間を楽しんでいる自分に、ふと気づき、
ゆっくりと呼吸しはじめる…来る人が。

そんな時間や空間になればという思いを込めた waccafe。



寺子屋わっか 毎週水曜日 18:30 ~ 20:00

5、12、19日 のべ18名

「テレビの音も周りもうるさすぎる！」 「宿題する場所がほしい！」 大人数兄弟の子が声を上げた事から
はじまった寺子屋わっか。小学生から中学生の子ども達がスタッフと一緒に学習しています。



2018年4月より米原市放課後児童クラブを 受託しています。

前回の月次報告で、市に対して、国からの休校要請に合わせて児童クラブを朝から開所するよう申し入れを行った旨をご報告しました。その後、仲間が一人として署名活動もしてくれ、児童クラブに預ける保護者としての思いを市に届けてくれました。

結果、米原市は、学校での受入れも受け皿の一つとしながら、児童クラブに登録している全児童が預けられる体制をつくってくれました。ありがたい限りです。

しかしながら、現状の新型コロナウイルスの感染状況を鑑みると、この対応が果たしてよかったのかと考えてしまいます。残念ながら、学童保育は、適切な環境が設定されていない場所が多く、濃厚接触につながるような環境になりがちであることは否めません。感染拡大防止の観点から考えれば、学校が休校対応している中で、学童保育を開所するのはいささか疑問です。ただ、忘れてはいけないのは、学童保育も閉所するなら、保育所や幼稚園、放課後等デイサービス等も閉所しなければ意味がないということです。

ですから、学童保育を開所することがおかしいと、学童保育だけ批判されるのは筋違いです。学童保育は、子ども達の生活環境が適切な環境設定ではない場合が多いのは確かです。ただ、一方で働く職員の労働条件などの労働環境も適切とは言えない状況です。いわゆる保育所と同じような役割を担っている学童保育の働く環境は保育所以上に劣悪です。そんな環境下で精一杯頑張っている職員の方が多くいらっしゃいます。それをまず、多くの方には知って頂きたいです。ただ、批判するのではなくて。



事業の目的

子どもがまるごと受けとめられる経験をし、夢中になれるものを見つけ、安心して自分が夢中になるものをやりぬくことで、結果的に成長することを目的とした事業です。そのために、小中学生に、彼らが夢中になるものをやりたいように突き詰めるサポートを、一緒に過ごすスタッフやと子どものやりたいこと分野における専門家が行う。スタッフと専門家が、子どものやりたいことを見守りつつ必要に応じて、学習面、生活面までのサポートし結果として子どもの学力の向上を目指します。

中学生の参加者 N くんが、ほぼ毎回すごした様子を Facebook に投稿しています。

Facebook ページは 『子どもの夢中全力サポート事業』 で検索できます。

フォローや『いいね』をいただくと N くんモチベーションになります。

N くん の FB への投稿より

7日

みなさんあのね！今日は、かめラボの新聞作成をするための見学について考えておりました。小学生兄弟も、似たようなことを考え中です。楽しみだなあ♪

14日

こんばんは！みなさんあのね！今日は、エクセルで、移動作業をやりました。ふりかど氏に最近、新しいやり方を教えてもらいました。嬉しかったよ🥳🎵PCの事をもっと知りたいなあ📍📍小学生兄弟は、電車の時刻表を調べていました。🚆🌟楽しかったなあ！👏👏

21日

こんばんは！みなさん、あのね！今日はPCをしたよ！🥳たのしかったなあ～小学生兄弟は、Ipadでマイクラフトで姫路城をつくりはじめたよ🌞やったね



放課後児童クラブを受託する法人としての姿勢を示すとともに、長期休み中と同じく午前中からの受け入れ実施するために支援員確保の誠実かつ適切な予算処置を講じるように市長に申し入れを行いました。

令和2年2月28日

新型コロナウイルス対策に関する児童クラブの方向性について(要望)

米原市長 平尾道雄 殿

特定非営利活動法人わかか

共同代表 振角大祐

柳生のび



余寒の候、貴職にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は市政に対する熱き姿勢を示していただき、厚く御礼申し上げます。

さて、私ども特定非営利活動法人わかかは、2017年の法人創立以来、一貫して人をまるごと包み、受けとめ、見守る居場所づくりを推進して参りました。また、2017年来、貴市より放課後児童クラブの運営を委託され、現在までその事業目的である保護者が就労により、放課後保護者が家庭にいない子ども等に対して、適切な遊び場と生活の場を提供してきました。今回は、27日に新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、安倍晋三内閣総理大臣が公立学校の臨時休校を行うように各自治体に要請がなされました。他方で同日夜、厚生労働省は「保育園と学童保育は一斉休校の対象ではない」旨の会見を行いました。今回、私共は放課後児童クラブを受託する法人として、以下の申し入れるものであります。

第一に、厚生労働省の見解に基づき、小学校の臨時休校中について放課後児童クラブは長期休暇中と同様の対応を取り、開所することを要望いたします。そもそも、本事業目的は保護者が就労により日中に適切な保育が行えないことを社会的に補完するものです。今回の学校休校中も、放課後児童クラブを利用する世帯の保護者は当然に就労中であり、日中の保育を行うことができません。したがって、当法人の方針としても開設を行うことを強く要望いたします。なお、当法人が受託する児童クラブにおいては適切に感染拡大防止を図るとともに、当児童クラブ関係者より感染者が出た場合は通達、基準に則り閉所致します。

第二に、令和元年度当初の委託予算においては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う公立校の休校処置は予見されておらず、従って支援員の確保に対する予算も設定されておられません。貴市と当法人はお互いを信頼し、尊重し、協力しあい本事業を運営してきたものと信じていますが、今回の緊急処置に関して、支援員確保への誠実かつ適切な予算処置の対応を求めます。

これはひとえに、その受益者である米原市民・子どもの生活保障を願うためです。行政制度で何よりも大切なのは、その目的にあり、その目的を見誤ると、どんなに良い政策でも無力に期します。放課後児童クラブの事業目的と児童福祉の本旨に基づき、上記2点を米原市に申し入れます。

米原市はじめ、関係いただいた方すべてのご尽力により、3月5日より、開設時間の繰り上げが実施されました。みなさま、本当にありがとうございました。

みなさまからの 寄付など

わっかが、古民家を『参加費無料』で開放をできるのは、
みなさんのご寄付やご助成による支えによります。
2020年2月にいただいたご寄付、ご支援とマンスリーサポーターの方
助成団体さまのご紹介させていただきます。

2月にいただいた物品でのご寄付（敬称略）<>内の方から頂きました

お米 < JA >	食材、お菓子 < カーブス顔戸店 >	おかし < おてらおやつクラブ >
インクジェット < わっかの常連 >	靴、長靴 < わっかの常連 >	食材 < わっかの常連 >

マンスリーサポーター（定額寄付会員） 13名（敬称略）

大溪 麻紀子	福地 真路	後藤 基志
マコトヤ	佐藤 真紀	佐藤 桃子
廣部 奈緒美	前田 諭	藤澤 彰祐
石田 智子		

氏名の掲載をご許可いただいた方のみ掲載しております

助成団体（敬称略）

米原市役所 	キューピーみらいたまご財団 	親切会
Coop 	子供の未来応援基金 	真如苑

寄付者の声

行ける日がなかなか作れないのですが、ひとまずお金で応援させてください。
わっかが、今まで通り、みんなの安心できる場所でありますように。



団体名	特定非営利活動法人 わっか
住所	〒521-0012 滋賀県米原市米原 178 番地 5
電話	070-1803-1059
メール	wacca235@gmail.com

ホームページ



FB ページ



のびとあすかの思いについて知りたい方は、Ameblo へ



Note では、だいのすけが、わっかですごく日々から感じたことをかいています。



You Tube では、わっかの様子を動画で見いただけます。

